

漢和辞典

東京教育大学 花田哲夫・編

集文館刊

く け こ さ し す せ そ た ち つ

江苏工业学院图书馆
藏书章

漢和辞典

東京教育大学 花田哲夫・編

集文館刊

ア イ キ ク ケ

キ ク ケ ソ タ チ ツ

テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ

漢 和 辞 典

定価 730円
(本体709円)

発 行 1996 年 4 月 15 日

編 者 花 田 哲 夫

発行者 荒 井 邦 子

発行所 図書出版 集 文 館

〒162 東京都新宿区揚場町 2-16

TEL 03 (3269) 0464

振替 00140-3-1068

* 万一、乱丁・落丁本がありました
場合はお取り替えいたします。

はしがき

学童・生徒・一般社会人をとわず、小型で定価も安く、誰にもひきやすくみやすい漢和辞典を編集することは編者のながい間の夢であつた。

今回集文館より刊行した漢和辞典は、複雑きわまる漢字を整理し、明快平易な語釈と教科書に載っているすべての熟語（二万七千余の熟語はこの種の辞典では類をみない）と、新聞雑誌等で新しくつくられた言葉や、訓よみする言葉など広くおさめてあり、漢字を主にした国語辞典ともいふべきものである。

漢和辞典はどれをとつてもページ数ばかりがかさみ、むやみに難解な文字ばかりが目について手にもつただけでうんざりするというのが全国の生徒諸君、一般の方々のいつわらざる心境であらう。

それら諸君の要望に応え、わかりやすさを基本にした本辞典は、教育漢字・当用漢字・それ以外のものと一目でわかるように配列してあるので効果的な学習も期待できる。しかし小型の辞典であるだけに言いたりぬ不満の点も多いが、不備をあらため年毎に改良をくわえていく覚悟である。有効な付録記事も掲載したので充分にご活用されんことを……。

編者しるす

漢和辞典

目次

部首索引	みかえし
はし	がき
目次	二
この辞書の使い方	三
音訓索引	七
総画索引	三三
部首索引	四〇
画の数え方	五一
部首索引と新字体	五二
筆順の原則	五三
ひらがなのおこり	五四
本文	一
簡易字体・新字体	一一五四
当用漢字補正追加	一一五五
人名漢字表	一一五八
漢字のおこりとなりたち	一一六〇
現代かなづかい	一一六二

この辞典の使い方

一、この辞典は、当用漢字表・当用漢字音訓表・現代かなづかいに基づいて編集してあります。当用漢字表にのっていない漢字は▲印を、当用漢字音訓表にないよみ方をする当用漢字には△印をつけて、教科書や広く一般に使われているものは全部取りいれてあります。また新しくつくられた言葉も多くのせました。

一、この辞典は、今までの漢和字典の形式をとりました。しかし、今までの漢和字典とはちがって、訓よみのことばをきわめて多くおさめてありますので、漢字を主にした国語の辞典と言うことができます。

一、この辞典に使われている漢字は、すべて完全な新字体を採用してありますが、親字の下に「ハ」で旧字体をも示しておきました。索引にもすべてこの新・旧字体の二通りが示されてありますから、新字体でも旧字体でも求めることばを引くことができます。

一、親字の上には文字番号をつけておきました。総画索引と部首索引は、この文字番号によって求める語を引き出して下さい。

一、よみのわかる語は、本文の前にある音訓索引を利用すると便利です。この音訓索引は、引きよいようにたてに組みましたので、頁数によって求めることばをさがし出すようになっていきます。またこの音訓索引には、旧字体および送りがなをあわせて示しました。

一、当用漢字のうちには旧字体とまったく形のかわった新字体があります。たとえば、「医」の旧字体は「醫」ですが、この医を「酉の部」にいれておくのはつづろが悪い、当然「」の部にでもうつすべきでしょうが、語によってはいろいろ問題もあるので、この辞典では今まで通り「酉の部」にいれておきました。次に、一つ一つの例によってくわしく説明しましょう。

西(とりへん)の部

1670 **【配】** ハイくばる「分配」
たぐい。くばる。

【配下】ハイ てした。

【配給】ハイ 米や麦などを公定価格でわりあてくばる。

【配偶】ハイ つれあい。夫婦。

【配合】ハイ とりあわせる。

【配剤】ハイ ほどよく取り合わせる。薬の調合。

【配所】ハイ 徳川時代に罪人を島流しにしたところ。

【配色】ハイ 色の取り合わせ。

【配する】ハイ くばる。そえ合わせ。部下にする。島流しにする。「ひく」「工事」

【配線】ハイ 配電のために電線を

【配膳】ハイ 食事のぜんをくばる。

【配属】ハイ それぞれ分けて附属させる。

【配達】ハイ 品物をくばりとどける。「料」

【配置】ハイ くばりおく。てくば

【配電】ハイ 電力を方方向くばる。

【配当】ハイ わりあて。会社の利益を株主に分けること。

酉(とりへん)の部

あることを示したものです。

1670 **【配】** ハイくばる「分配」
たぐい。くばる。

です。この義務教育漢字は八百八十一字あって義務教育中にぜひおぼえなければならぬ漢字です。

親字「配」の下右側にある片カナ「ハイ」は「配」の音よみ、平がな「くばる」は訓よみを示しました。その下の「分配」はこの語の使い方の一例を示しました。左側の「たぐい」「くばる」は「配」の語の意味を示したものです。

【配下】以下の熟語は、引きやすいようにアイウエオ順にならべてあります。これは、今までの漢和字典にはないことですが、とくに熟語の多いところでは求めることばをさがす場合大へんさがしやすいたがわります。

【配下】ハイ の「ハイ」は音よみを示し、訓よみの時は平がなを用いました。

【配膳】ハイ の「膳」の字についている▲印は「膳」の字が当用漢字表以外の字であることを示したものです。

【配達】ハイ のところにある「料」、【配線】ハイ のところにある「工事」はいずれも「配達料」、「配線工事」のことで、できるだけ多くこのように使い方の例を示しておきました。

は、酒・酢・酬・酪・酵・酷・酸・酔・醜・医・酸
など「酉へん」のついている語をまとめておさめて

親字「配」の上にある1670は文字番号を示し、
下の*印は義務教育漢字であることを示したも

名・人名・風俗などを自国のものに改めてかきなおすこと

【翻意】¹⁷⁹ 考えをあらためる。

【翻刻】¹⁷⁹ 一度出版した本を再び組んで出版すること。

【翻然】¹⁷⁹ ひるがえるさま。心をあらためるさま。

【翻訳】¹⁷⁹ ある国の言葉をよその国の言葉になおす。

【翻す】¹⁷⁹ 反対する。うらがえす。風などにひらひらなびく。心を改める。

【翻る】¹⁷⁹ ひっくりかえる。高くひらひらまいあがる。

食(しょくへん)の部

1799 【食】¹⁷⁹⁹ ショク・ジキ くら。たべる。「食」 たべる。くらし。

【食当たり】¹⁷⁹⁹ ↓【食中】¹⁷⁹⁹ たべすぎたり、くさったものをたべたりしてはらいたをおこすこと。

【食塩】¹⁷⁹⁹ 食事用のしお。と。

【食器】¹⁷⁹⁹ ・【食卓】¹⁷⁹⁹ ・【食堂】¹⁷⁹⁹ 食事用のうつつわ・テーブル・へや。

【食言】¹⁷⁹⁹ ショク・ジキ くら。たべる。「食」 たべる。くらし。

【食言】¹⁷⁹⁹ ショク・ジキ くら。たべる。「食」 たべる。くらし。

1799 【食】¹⁷⁹⁹ ショク・ジキ くら。たべる。「食」 たべる。くらし。

ほかとを区別しておきました。

「」の中にある「食」の字は食の旧字体を示したものです。

【食当たり】¹⁷⁹⁹ ↓【食中】¹⁷⁹⁹ の「食当たり」と「食中」のよみが同じなので、「食当たり」の方のよみをはぶきました。

↓印は、「食当たり」と「食中」との意味が同じであることを示したものです。

「中」の字についている△印は「中」の字に「あたり」と言うよみが、当用漢字音訓表中にないことを示したものです。

【食器】¹⁷⁹⁹ ・【食卓】¹⁷⁹⁹ ・【食堂】¹⁷⁹⁹ 食事用のうつつわ・テーブル・へや。

なるべく多くのことばをおさめるためと、同じ性質のことばを同時におぼえさせるために、ひとまとめにして示してみました。解釈のところに「食事用の……」はいずれも「食事用のうつつわ」「食事用のテーブル」「食事用のへや」であることを示しました。ただし、熟語のあまり多いところはさがしにくいいためひとまとめにしてありません。

親字「食」のよみが、この場合のようにたくさんあって、一行におさまらずに、次の行にまたがる場合には、「一」印をつけて、よみとその

振

シン ふる 「不振」
「ふるまう」はかな。

【振起】^キシ ↓ 【振興】^キシ ↓ 【振作】^シシ
盛んにする。

【振動】^シシ ふるいうごく。

【振幅】^シシ 振動の範囲。

【振り合い】^シシ 他との比較。

【振り替え】^シシ 帳簿上たがいに
貸借を消し合うこと。

【振り仮名】^シシ 漢字のよみをつ
けるかな。ルビ。

【振り出し】^シシ 為替(かわせ)小
切手を発行すること。出発点。

【振付】^シシ しばいやおどりの所
作(しよさ)をつけること。

【ふるまい】^シシ 動作。行い。

【とる】^シシ 取る。

【捕獲】^シシ とらえる。

【捕鯨船】^シシ くじらをとる船。

【捕捉】^シシ つかまえる。「る。

【捕縛】^シシ とらえてなわでしば

【捕虜】^シシ とりこ。「収容所」

【捕える】^シシ つかまえる。

【捕り物】^シシ 罪人をめしとる。

振

シン ふる 「不振」
「ふるまう」はかな。

かなで書いた方がよいことを示したものです。

【振り合い】 以下のことは、よみ・解釈と同時に正確な送りがなを示してあります。

【振り出し】^シシ 為替(かわせ)小
切手を発行すること。出発点。

【振付】^シシ しばいやおどりの所作
(しよさ)をつけること。

【ふるまい】 動作。行い。

【とる】^シシ 取る。

親字「振」の下左側の「ふるまう」はかな、と言
うのは、「ふるまう」は「振る舞う」と書かずに、

【とる】^シシ 取る。

【捕獲】^シシ とらえる。

【捕鯨船】^シシ くじらをとる船。

【捕捉】^シシ つかまえる。「る。

【捕縛】^シシ とらえてなわでしば

【捕虜】^シシ とりこ。「収容所」

【捕える】^シシ つかまえる。

【捕り物】^シシ 罪人をめしとる。

【とる】^シシ 取る。

【捕獲】^シシ とらえる。

【捕鯨船】^シシ くじらをとる船。

【捕捉】^シシ つかまえる。「る。

【捕縛】^シシ とらえてなわでしば

【捕虜】^シシ とりこ。「収容所」

【捕える】^シシ つかまえる。

(音と訓のよみによる字さがし)

▼数字は頁数を示す

ア	亜(亞)	九	あきなり	*商う	四
アイ	哀	四	あきらか	*明らか	一〇〇
あい	*愛	八三	あきる	飽(飽)きる	二四三
*相		一四八	アク	*悪(悪)	八二
あいだ	*間	二三	握		九二
あう	*合う	二三	あける	*明ける	一〇〇
*会(會)う		二四	あげる	*上げる	四
*青(青)		二四〇	あさ	揚げる	九二
あおい	*青(青)い	二四〇	*朝	麻(麻)	二五三
あおく	仰ぐ	二三	あざ	*字	一〇六
*赤		二〇八	あさい	*浅(淺)い	二五〇
あかい	*赤い	二〇八	あざむく	欺く	二四〇
あかつき	暁(曉)	二〇三	あし	*足	二〇六
あかるい		二〇三	あじ	*味	四二
*明かるい		一〇〇	あじろ	〔網代〕	一六六
*秋		一五四	あじわり	*味わり	四二
あきない	*商い	四三	あずき	〔小豆〕	六五
			あずける	*預ける	二四二
			あせ	汗	二二二

あそぶ	*遊(遊)ぶ	二八	あみ	網	一六六
あた	値	一八	あむ	*編む	一六六
あたえる	価(價)	二〇	あめ	*天	五三
	*与(與)える	一八〇	あやうい	*雨	二三七
あたたかい	暖(暖)かい	一〇三	あやしい	危うい	三四
	暖(暖)かい	一〇三	あやしむ	怪しい	八〇
あたま	*頭	三四	あやまる	怪しむ	八〇
あたらしい	*新しい	九七	あやまる	誤(誤)る	一九九
あたる	*当(當)たる	一四三	あゆむ	*歩(歩)む	一五
アツ	*庄(壓)	四九	あらう	*歩(歩)む	一八四
あつい	*厚い	三五	あらそう	荒らい	一四
	*暑(暑)い	一〇三	あらた	洗う	一四
あつかり	*熱い	一三三	あらたまる	*争(争)う	一四
あつまる	扱(扱)う	八七	あらたまる	*新た	九七
あてる	*集まる	一三五	あらためる	*改まる	九四
あてる	充てる	二〇	あらわす	*改める	九四
あと	跡	二九	*表わす	*著(著)わす	一八六
あな	穴	一五	あらわれる		
あなどる	悔(悔)る	一五		*現われる	一三八
あに	*兄	二〇	ある	*有る	一〇五
あね	*姉	五	あるく	*歩(歩)く	一五
あびる	*浴びる	一三五	あれる	荒れる	一八四
あぶら	*油	一三	あわい	淡い	一六
あま	*天	五	あわせる	*合わせる	三
	尼	六五	あわれ	哀れ	四二
あまい	甘い	一三	アン	*安	五八
あまる	*余(餘)る	二四六		*行	一九〇
				*案	二〇

アンじる
*案じる

イ
以 衣 位 依 易 委 威 胃 偉 尉 異 移 圉 爲 意 違 維 慰 緯 遺 醫 井 家
一三 一九一 一四 一五 一〇〇 五六 五六 一七四 一八 六四 一四二 一五五 四六 一三四 八二 三三〇 一六六 八四 一六七 三三二 三三四 九 一九六 六〇
えう い

イオウ	〔硫黄〕	一五	いちじるしい	*著(著)しい	一六	いれる	*入れる	二	うかぶ	浮(浮)かぶ	二四	うで	腕	一六
いかる	怒る	七九	イツ	*一	一	いろ	*色	一三	うかる	*受かる	三〇	うながす	促す	一六
いかん	〔如何〕	五五	逸(逸)	二八	一	いわ	*岩	六七	うく	浮(浮)く	二四	うばう	奪う	五五
イキ	域	四八	逸(逸)する	二八	一	いわり	*祝(祝)う	一五	うけたまわる	*承る	八七	うぶ	〔産〕	一四〇
いき	*息	八〇	イツする	二八	一	イン	*引	七四	うける	*受ける	七〇	うま	*馬	二四七
いきおい	*勢い	三三	逸(逸)する	二八	一		*印	四四	うごく	請(請)ける	二〇〇	うまれる	*生まれる	一三九
いきどおる	憤る	八四	いつつ	*五つ	九		*因	四四	*動く	三	うみ	*海(海)	一五	
いきる	*生きる	一三	いつわる	偽(偽)る	一九		*音	二四	うし	*牛	一五	うむ	*産む	一四〇
イク	*育	一四	いと	*糸(絲)	一五		姻	五八	うじ	*氏	一八	うめ	梅(梅)	一一
いく	*行く	一八	いとなむ	*営(營)む	一四		*員	四一	うしなう	*失う	五八	うめる	埋める	四八
いけ	幾	二二	いな	*否	四〇		院	三三	うしろ	*後ろ	六八	うもれる	埋もれる	四八
いさぎよい	*池	二三	いぬ	*犬	一六		陰	三三	うすい	薄(薄)い	一七	うやまう	*敬う	九八
いさぎよい	潔(潔)い	二九	いね	稲(稻)	一五		*飲(飲)	二四	うたい	*歌	二四	うら	浦	一四
いさむ	*勇(勇)む	三三	いのち	*命	四二		韻(隠)	二四	うたい	謡(謡)	二四	うらなう	裏	一九
いざよい	〔十六夜〕	三三	いま	折(祈)る	一五			二四	うたがう	*歌う	二四	うらむ	占う	三三
いし	*石	一五	いましめる	戒める	六六		ウ	三六	うち	*内	三三	うる	*売(賣)る	二〇七
いしづえ	礎	一五	いみ	忌	六六		*右	三六	うつ	*打つ	八七	うるおう	潤う	一三〇
いずみ	泉	一三	いむ	忌む	六六		宇	三六	うつ	*討つ	一六	うるし	漆	一三〇
いそがしい	忙しい	九	いも	芋	一三		*有	一五	うつくしい	撃(撃)つ	一六	うるわしい	麗しい	二五一
いそぐ	*急(急)ぐ	九	いもうと	*妹	一六		羽(羽)	一七	うつす	移す	一五	うれい	憂い	八四
いた	*板	一〇	いもちビヨウ		一六		*雨	二七	うつたえる	訴える	一七	うれえる	憂える	八四
いただき	頂	二四	〔稲熱病〕	一五	一五		〔得〕	六六	うつる	*写(寫)す	一六	ウン	*雲	二二七
いたむ	痛む	一四	いやしい	卑(卑)しい	三三		*上	四	うつる	*写(寫)る	一六		*運(運)	二二八
いたる	*至る	一七	いる	*入る	二		飢(飢)える	二五	うつわ	映る	一〇二			
イチ	*一	一		*居る	六五		*植える	二二		*移る	一五			
いち	*老(壹)	五〇		射る	六五		*魚	二五		*器(器)	四三			
	*市	六八		鏑(鑢)る	三六		うかがう	二三						

エ	恵(惠)	ハ	恵	一	オウ	王	一六	おき	沖	一三	おしよう	(和尚)	四二
	*会(會)	一〇四	謁(謁)	二〇二	央	五四	おぎなり	*補う	一三	一三	おす	押す	八八
え	*絵(繪)	一六八	偉い	一八	往	七五	おきる	*起(起)きる	二〇八	二〇八		*推す	九二
	江	二三	*選(選)ぶ	三三	押	八八	オク	*屋	六六	六六		雄	三三五
	柄	一〇九	*得る	六	皇	一四		奥(奥)	五五	五五	おそり	襲う	一三三
エイ	*重	三三	獲る	一七	翁(翁)	一七一		*億	二〇	二〇	おそれ	虞(虞)	一八八
	*永	三三	延(延)	三三	黄(黄)	二五三	おく	憶	八四	八四	おそれる	恐れる	八〇
	*泳	三三	沿	三三	奥(奥)	五五	おく	*置く	一六九	一六九	おそろしい	恐ろしい	八〇
	映	一〇二	炎	三三	欧(欧)	二四	おくる	*送(送)る	二五	二五	おだやか	穩(穩)やか	一五六
	*英	一八三	宴	六〇	殴(殴)	二七		贈(贈)る	二〇八	二〇八	おちいる	陷(陷)る	三三三
	詠	一九	援(援)	三三	*横(横)	二二	おくれる				おちる	*落ちる	一八六
	*榮(榮)	二三	煙(煙)	三三	*応(應)	八五		遅(遅)れる	三二	三二	オツ	乙	八
	影	七五	*園	四	桜(櫻)	二四	おこたる	怠る	九	九	おと	*音	二四一
	鋭(銳)	三三	*円(圓)	四	*負(負)う	二〇四	おこなる	*行(行)う	一九〇	一九〇	おとと	*夫	五三
	*衛(衛)	一九	鉛	三三	*追(追)う	二四	おこる	*起(起)る	二〇八	二〇八	おと	*弟	七四
エイ	*營(營)	一四	*演	一九	扇(扇)	八七	おさえる	*興る	一八〇	一八〇	おとこ	*男	一四二
	映(映)ずる	一〇二	*遠(遠)	三三	*応(應)ず	八五	おさない	押さえる	八八	八八	おとろ	訪れる	一九七
	詠(詠)ずる	一九	縁(縁)	一六	*終(終)える	一六	おさまる	幼い	七	七	おとろえる	踊る	二〇九
	描く	九	*塩(鹽)	二五	*多い	五	おさめる	修まる	一七	一七			
エキ	役	七五	エンじる	一九	*大きい	五		*収(收)める	四	四	おどる	踊る	二〇九
	易	一〇	オ	二	仰せ	三		*治める	一三	一三	おどろく	驚く	二四八
	疫	一四	汚	二	丘	六	おかし	*修める	一七	一七	おなじ	*同じ	三九
	*益(益)	一四	小	三	犯す	一六	おしい	*納める	一三	一三	おに	鬼	二五〇
	*液	一三	尾	六	侵(侵)す	一六	おしえる	惜しい	八	八	おのおの	*各々	三八
エツ	*駅(驛)	一〇	雄	三	冒(冒)す	二五		*教(教)える	五	五	おび	*帯(帶)	六九
	悦(悦)	一〇	緒(緒)	一六	*拜(拜)む	八九	おしむ	惜しむ	八	八			
	越	二九	老いる	一七	(悪感)	八							

10

[illegible]

キ

キ(き)

(き)																											
*己	企	危	机	岐	希	忌	汽	奇	*季	*折(祈)	*紀	軌	*気(氣)	*記	*起(起)	鬼	*基	*寄	既(既)	*規	飢(飢)	*喜	幾	揮	*期		
六	三	四	一〇八	七	九	七	一三	四	五	一五	一六	二〇	一九	一九	二〇八	二五〇	四	六	九	一四	二五	四	七	九	一〇六		
							き			ギ										きえる	きく	きく	きこえ	きざむ			
棋	棄	*貴	*旗	輝	*器(器)	*機	*帰(歸)	*木	*生	*黄(黄)	*技	宜	欺	*義	偽(偽)	*疑	儀	戯(戯)	擬	儀(儀)	*議	菊			刻む		
二二	二二	二〇五	九	二二	四	一三	一六	二四	一〇七	二五	八七	五九	一四	一七〇	一	一四	二〇	八	九	一三	二〇三	一五	一七	二八			
きし	きず	きずく	きずつく	きずつける	きす	きす	ぎす	ぎす	きそ	きた	きたえる	キチ	キツ	キッ	キッする	きぬ	きみ	きめる	きも	キヤク		ギヤク	キュウ				
*岸	傷	*築く	傷つく	傷つける	*期す	*帰(歸)する	*議す	擬する	*競り	*北	鍛える	吉	喫(喫)	詰	喫(喫)する	*絹	*君	*決める	肝	却	*客	脚	虐(虐)	*逆(逆)			
六	一	一六〇	一	一	一〇六	一六	二〇三	九	一五	三	二八	三九	四	一九	四	一六五	四〇	一	一七四	三五	五九	一七六	二五	八			
久	弓	及	丘	休	朽	吸	求	究	泣	糾	*急	*宮	*級	*救	*球	*給	窮	*旧(舊)	*牛	*休す	巨	去	居	拒	距		
七	七	三六	六	三	一〇八	四〇	二二	一五六	一三	一六一	六〇	一六	九	一三八	一六五	一五七	一八〇	一三五	一三	六	六	六五	八	一九七	二〇九		
		ギヨ			きよい	ギヨ	キヨウ																				
提(據)	*拳(拳)	*魚	御	*漁	*清(清)い	御す	凶	*兄	叫	共	狂	享	*京	*供	*協	況	峽(峽)	恐	恭	狭(狭)	胸	脅	*経(經)	*教(教)	*強(強)	*郷(郷)	*境
九三	九三	二五〇	七六	一九	一六	七七	二五	二〇	三七	二四	一三	一〇	一〇	一五	三四	一三	六七	八〇	八〇	一三六	一七五	一七五	一六五	九五	七四	二二三	四九

[illegible]

[illegible]